

緑化だより



No.80 平成25年1・2月合併号



“霜に縁取られたサザンカ” 平成24年1月6日撮影

- 広島県の美味しいなば(10)
- 野鳥の世界(ミヤマホオジロ)
- 松竹梅
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

本年もよろしくお願ひします。

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

(10) ヒラタケ(平茸)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はヒラタケです。

種々の広葉樹、時に針葉樹の倒木上や枯れ木などに晩秋～冬に発生します。1～2月でも大きく成長して重なり合ったヒラタケを見ることがあります。

傘の表面は初め黒色～暗灰色ですが成長するにつれ淡色(灰色)になります。柄は短く傘の中心部についているものもありますが中心をはずれ少し横についているものもあります。

このヒラタケ、昔から多くの人に食べられているのに、なぜか本名がほとんど知られていません。というのはスーパーマーケットでよく売られていた時は(最近ではブナシメジやエリンギが増えている)〇〇シメジという商品名で売られていたので、シメジと言えばこのヒラタケのことだったのです。

似た種類として初夏に発生するウスヒラタケがありますが、ヒラタケより傘の肉が薄く小ぶりです。食用です。(川上)



ヒラタケ

野鳥の世界

ミヤマホオジロ

ミヤマホオジロは、ロシア沿海地方やアムール川南の地域から越冬のため渡ってくるホオジロの仲間です。

よく似た種類にカシラダカがいますが、よくみると、目元から頬にかけて黒い眉斑、のどは黄色、胸には黒い斑が目立ちます。一番の特徴は頭にある黄色の冠羽で、採食中もそば立てて黄色が一層際立って見えます。

ホオジロ、カシラダカなどと同じ環境を好み、里山の低木林や開けた耕地に棲みついています。鳴き声もよく似ていて、地鳴きでは“チィ・チチ・チュチュリ”とホオジロそっくりです。

ミヤマホオジロはその姿の美しさのため、江戸時代から親しまれていました。又、「いのこどり」と呼ばれていた事が江戸中期の書物に見られます。

名前の由来、ミヤマは山間部の里山低木林の環境を意味したものと考えられます。

緑化センターでも、毎年立冬を過ぎる頃になるとその姿を見る事ができます。ホオジロ、



ミヤマホオジロ

アオジ、クロジなどの餌場にきて一緒に食べています。その数が少なくなっていくのが気になりますが、道路際のヨモギやオヒシバの種子を採食していることが多く、他の鳥に混じっていることもよくあります。

近年では芸北町八幡の笹藪の中でも繁殖の例が確認されています。初夏にはサエズリが聞かれるかもしれません(吉見)

松竹梅

戦後、「山を緑に」との掛け声で、門松が印刷物に変わってから半世紀以上が経過します。今では山林を切らないで放置するため、荒廃していく山が多くなっており、門松も見直しの時期に来ていると思います。

松を玄関に飾る風習は、松に神様が降りる拠り所としたようで、マツの名が「神を待つ」説であるのはここから来ています。

門松に竹が加わり、梅が彩りをそえるようになったのは、日本で始まった風習です。

門松は平安時代に始まり、竹が室町時代に加わり、さらに江戸時代に梅を加えて、松竹梅の縁起物としたとされています。

裸子植物の松、単子葉植物の竹、双子葉植物の梅と考えると植物界の象徴としても見ることが出来ます。

松竹梅の思想は、古くは中国宋の時代に始まった文人画の画題である歳寒三友から出ています。

歳寒三友とは、厳寒の季節に青々と緑の葉をつけている松、真冬でもすっと伸びて緑の葉をつけている竹、他に先駆けていち早く咲く梅を三人の友と見立てたことで、縁起物とは無関係でした。

日本ではこれらを縁起の良い植物として扱い、玄関に飾るようになりました。

松は長寿を願い神様が降りて下さるものとして中心に据えられます。ほとんどの家に松の小枝に白紙を巻き、水引をひいて玄関の両側に立てる風習が戦前は一般的でした。

企業や大きな家では、特別に仕立てた門松が飾られていましたが、近年この風習が戻ってきております。

竹の春と言え、秋の季語ですが、成長が早くすっと伸びる様に、人々は素直さと強靭さを求めます。

同志社大学の創始者新島謙の詩「寒梅」で、寒さの中で凛と開き、すべての花の魁(サキガケ)となる梅の気品を詠まれています。

松の長寿、竹の強靭さと素直さ、梅の気品との願いが込められた松竹梅飾りは日本の新春にふさわしい風習です。(正本)



門松

研修会のご案内

- 1月 6日(日) 『春の七草教室』
春の七草について学び、
七草粥を試食しよう
10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター 長井 稔
※ 要予約・無料
- 2月 24日(日) 『ジャンボ椎茸植菌教室』
ジャンボ椎茸を家庭で育てよう
10:00～12:00 学習室 集合
講師:日本きのこセンター 入江 淳人
※ 要予約(先着 30名)・材料費 600円前後
- 3月 3日(日) 『早春の探鳥会』
早春の野鳥を観察しよう
9:00～12:00 管理事務所前集合
講師:日鳥連会員 吉見 良一
- 3月 16日(土) 『縄の結び方教室』
様々なロープワークを学ぼう
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 西岡 好展
※ 要予約(先着 25名)・無料
- 3月 24日(日) 『接木・取木教室』
接木・取木を学習しよう
10:00～12:00 学習室 集合
講師: 樹木医 溝口 幸平太
※ 要予約・材料費 500円 ・ナイフ持参
- 3月 28日(木) 『ツバキ探勝会』
品種の多いツバキを学ぼう
10:00～12:00 学習室 集合
講師:日本ツバキ協会会員 武村 友和

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

(ボード展示)

緑化センター写真コンクール作品展

12月13日～1月20日(日)

応募者全員(1人1点)の作品を展示しています。

緑化ポスター原画コンクール入賞作品展

1月23日(水)～2月17日(日)

緑化センター木の実写真展

2月20日(水)～3月24日(日)

(ガラスケース展示)

木彫りあすなろ会作品展

1月 6日(日)～ 2月 4日(日)

園内は積雪、凍結することがあります。
ご来園の際は気をつけてお越し下さい。



木彫りあすなろ会作品展より

表紙:

冬の時期、園内は0℃以下になることがしばしばあります。葉やサザンカの花の上にも霜が降り、霜で白く縁取りされた姿が見られます。